

# Analytics Properties (分析プロパティ) の使用

## 概要

分析プロパティ (変数、jQueryセレクトター、およびウェブサイトCookieなど) をインサイトのカスタム属性として使用すると、レポートをより詳細なユーザー情報でより適切にフィルタリングできます。

## ユースケース

- お客様側の情報をインサイトに渡し、インサイトで利用可能なデータを強化する
- ユーザー名、ユーザータイプ、ユーザーロール、ユーザーステータス、ユーザー情報などのタイプ別にセッションをフィルタリングする
- ウェブサイト固有の情報からカスタム属性を作成する

## 使用方法

既存の変数、jQueryセレクトター、またはウェブサイトCookieをエディタの分析プロパティに接続して、ユーザーの詳細情報を取得できます。

その後、この情報を基に新しいフィルターを作成して [保存する](#) ことができます。分析プロパティは、[Filter properties (フィルタプロパティ)] → [Session (セッション)] → [Custom Attributes (カスタム属性)] で利用できます。

**General**
Safe Start
AB Testing
Single Page
Features
User Preferences
✕

**Unique User Settings**

---

Set a unique user identifier to track each user's activity

User Identifier: Defined by Variable object.user.id

Don't load WalkMe if user ID is not found

**Analytics Properties** ⓘ

---

To display identifiable data in WalkMe Analytics (e.g. user name, role, etc.), set your preferred data properties.

Name  Type  Role  Status  Info

Info:	Defined by	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Variable</span>	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">object.user.id</span>	<span style="color: #007bff; font-size: 0.8em;">✕</span>
Name:	Defined by	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Variable</span>	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Your variable name</span>	<span style="color: #007bff; font-size: 0.8em;">✕</span>
Type:	Defined by	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Variable</span>	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Your variable name</span>	<span style="color: #007bff; font-size: 0.8em;">✕</span>
Role:	Defined by	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Variable</span>	<span style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">Your variable name</span>	<span style="color: #007bff; font-size: 0.8em;">✕</span>

PUBLISH SETTINGS...
⚙️ Admin Settings

Cancel
Save

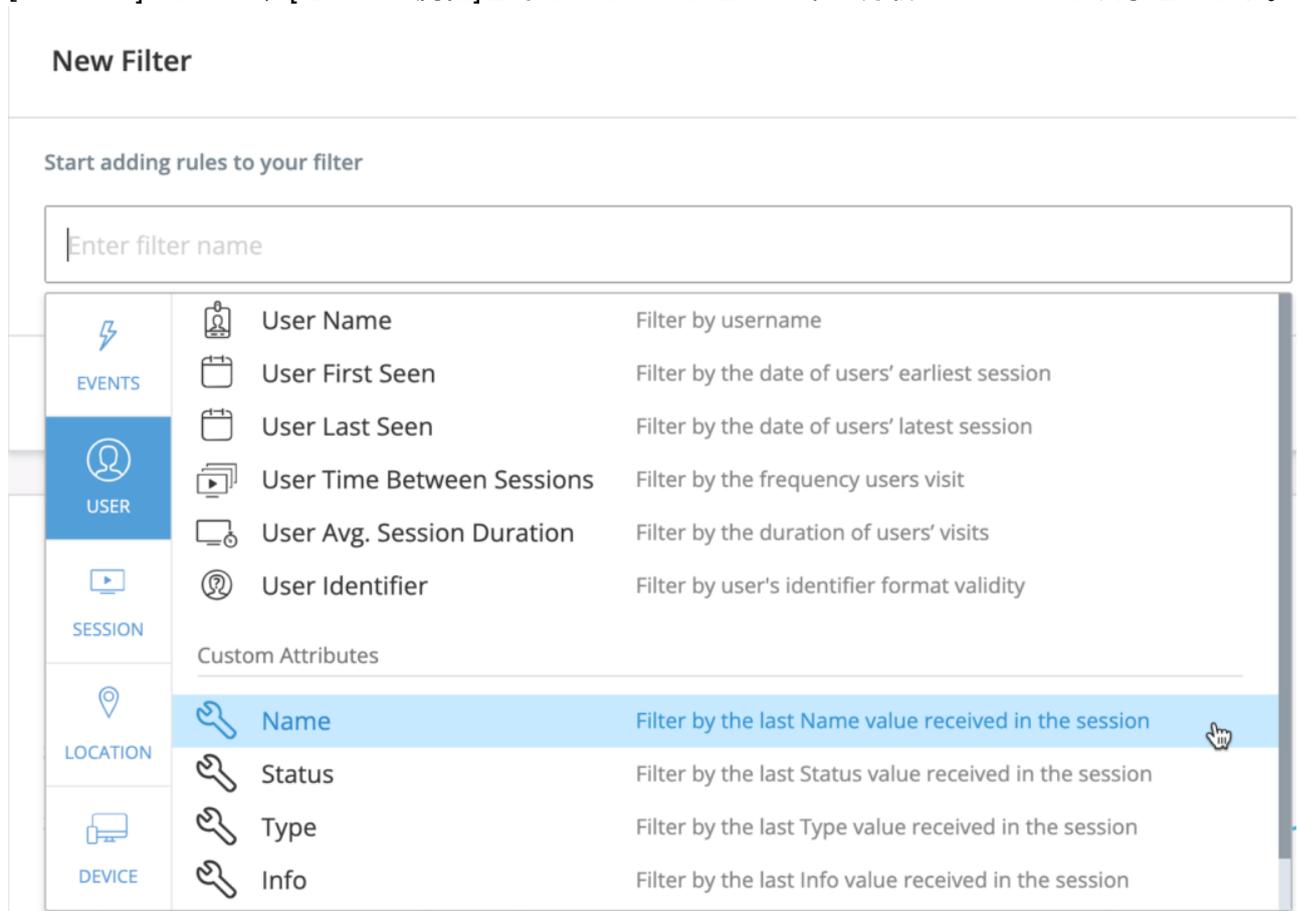
## 分析プロパティを追加する手順

1. エディタの設定を開きます
2. [全般]タブで、[分析のプロパティ]に移動します。
3. 追加するプロパティの種類のボックスをオンにします：
  - 名前
  - タイプ
  - ロール
  - ステータス、または情報
4. プロパティを追跡する方法を選択します：
  - 変数 - 変数名を入力する
  - jQuery - jQueryセレクターを入力する
  - Cookie - Cookie名を入力する
5. [Save (保存)] をクリックします。
6. 設定のパブリッシュを実行

## Analytics Properties (分析プロパティ) を使用して保存済みフィルターを作成する手順

分析プロパティを作成したら、[insights.walkme.com](https://insights.walkme.com)のインサイトアカウントから新しいフィルターを作成することで、それらにアクセスできます。

1. フィルタドロップダウンをクリック
2. [+ 新規フィルタ]をクリックします
3. [+ルール追加]をクリックします。
4. [ユーザー]タブには、[カスタム属性]と呼ばれるセクションの下に分析プロパティが表示されます。



5. フィルタリングするプロパティを選択し、条件と値を入力します。
6. [フィルタの保存]をクリックします。
7. フィルタの名前を入力し、[保存]をクリックします。

新しい保存済みフィルタが、残りの保存済みフィルタとともにフィルタドロップダウンに表示されます。このフィルタは、インサイト概要ページページなど、フィルタリングが適用される任意の場所で使用できます。

分析プロパティは、インサイトレポートに追加することもでき、エンドユーザーから送信された最新の値をインサイトのエンドユーザーオブジェクトに格納します。

## Insights内の分析プロパティのフィルターロジック

パフォーマンスを向上させるために、インサイトの分析プロパティフィルタは、セッションのすべての値ではなく、セッションで確認された分析プロパティの最後の値を基準にフィルタします。

例：

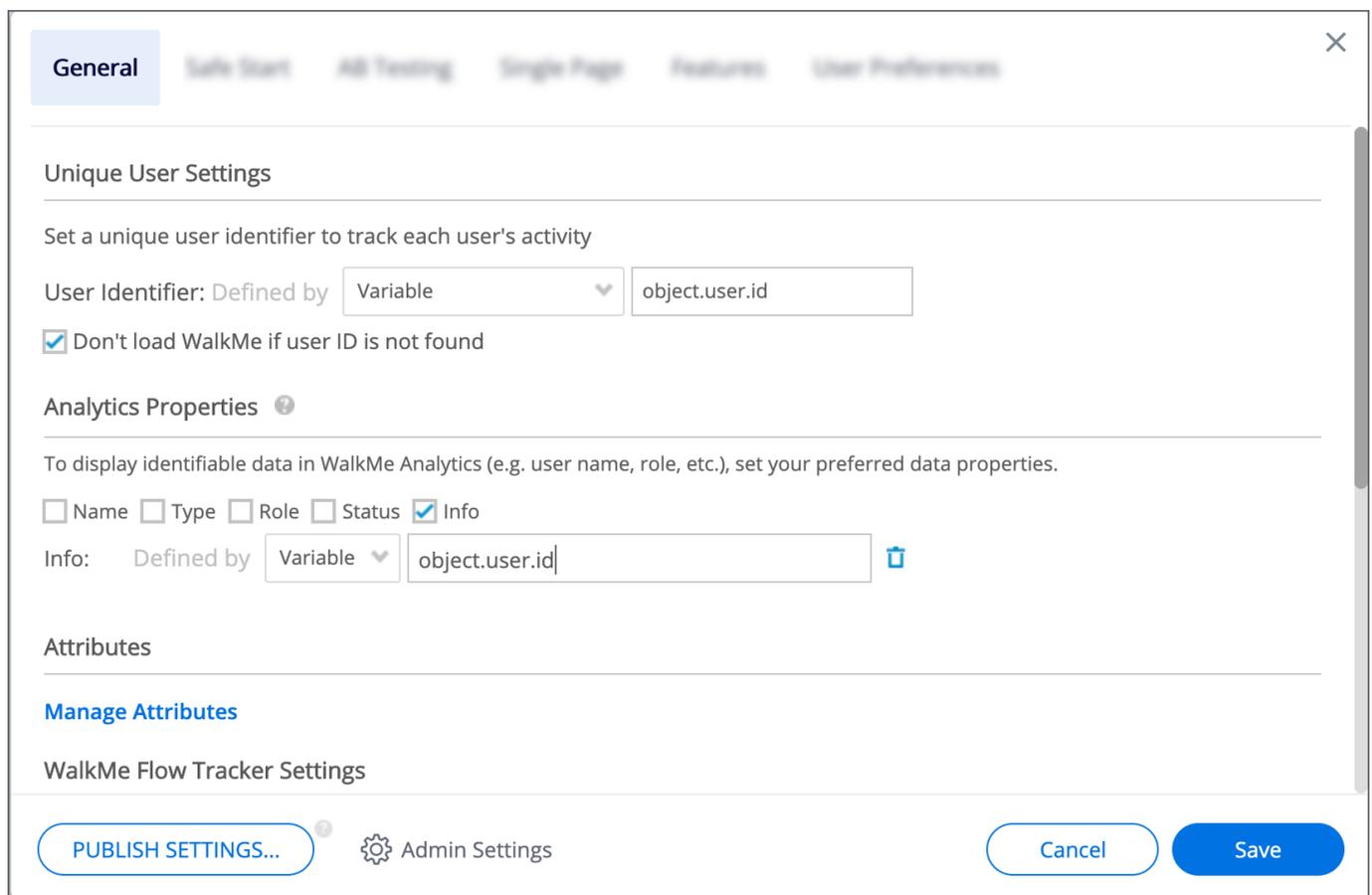
下のスクリーンショットに表示される情報分析プロパティは、user.info変数から取得した値を送信する

ように設定されています。

セッションの最初のイベントで「**freemium**」という値をinfoフィールドが送信し、セッションの最後にこの値が「**premium**」に変更された場合、このセッションはinfoプロパティが「**premium**」であるセッションとして見なされます。

インサイトで「**Infoが「Premium」である**」というルールで分析プロパティのフィルタが利用された場合、このセッションはフィルタの一部と見なされます。

ルールの定義が「**Infoが「Freemium」である**」の場合、フィルタが適用されるとこのセッションは表示されません。



The screenshot shows the 'General' tab of the WalkMe Admin Settings dialog box. It includes sections for 'Unique User Settings', 'Analytics Properties', and 'WalkMe Flow Tracker Settings'. The 'User Identifier' is set to 'Variable' with the value 'object.user.id'. The 'Info' property is checked under 'Analytics Properties'. At the bottom, there are buttons for 'PUBLISH SETTINGS...', 'Admin Settings', 'Cancel', and 'Save'.

## 既知の制限

ロールタイプのア分析プロパティ値は最大200文字まで可能です（残りの文字列値は切り取られ、省略されます）。